

2016年度

特別選抜Ⅲ アジア事情探究型（自己推薦入試）

適性検査

□ 次の文章を読んで、後の問い（問1～7）に答えなさい。

「日據時代」^{（イ）}か、「日治時代」か。昨年（二〇一三年）七月ごろ、半世紀に及ぶ台湾の日本植民地統治時代（一八九五～一九四五年）をどう呼ぶかをめぐり論争が起きた。

この二つの用語はどう違うのか。それは、台湾の政治・社会を二分する統一・独立の問題にかかわっている。つまり、台湾は中国の一部だと考える「中国人アイデンティティー」、台湾は台湾であって中国の一部ではないと考える「台湾人アイデンティティー」をそれぞれ代表するのである。

まず、「日據」は中国人アイデンティティーに基づく用語で、日本が台湾を占拠したという意味である。「台湾は中国固有の領土」であり、日本による台湾統治は不当なものと考える。清朝が台湾を日本に割譲した一八九五年の□ A □ は認めない。

戦後、台湾を接収した国民党政権は、共産党との内戦に敗れて台湾に撤退する。国民党にとって、日本は八年にわたって戦った敵である。このため、国民党は日本に敵対的な「日據」を徹底して使用させた。

一方、「日治」は台湾人アイデンティティーに基づく用語である。日本が台湾を統治したという客観的な表現だ。台湾は中国の一部ではなく独立したものだと考えるとき、□ B □ 外来政権だ。日本統治時代も台湾史を構成する一つの要素となる。

実は戦後初期にも「日治」が使われたことがある。これを、国民党は「日據」に改めさせた。一九五一年、蒋介石総統をトップとする当時の国民党の**カクシン組織**^{（イ）}だった中央改造委員会は、以下のような決定を行った。『日治時期』と呼ばれているが、非常に**憂慮**^{（ロ）}すべきことだ。台湾はもともと中国のものであり、中国が台湾の主権を失ったのは日本による侵略行為、

武力占領のせいだ。だから『日治時期』を使うことは台湾同胞の国家民族意識をあいまいにするもので矯正する必要がある」。

この党の方針は、行政機関である台湾省新聞処が新聞社、通信社、雑誌社を対象に通告したことで政策としてシッコウされた。これ以降、日本統治時代を表す公式用語は「日據」に一本化された。

国民党は同時に台湾がかつて日本に統治された事実を消し去ることに努めた。国民党は戦後、二二八事件⁽⁵⁾を引き起こして台湾住民に多くの死者を出し、白色テロと呼ばれる政治的ダンアツ⁽⁶⁾を行った。国民党に反発する人たちは、日本統治時代の方が国民党時代より良かったと比較した。日本統治時代の影響を残しておくことは、国民党政権の台湾統治にとって危険なことだった。

それを変化させたのは、台湾の民主化だ。台湾の民主化は、外来政権の国民党から本来の台湾住民が政治の主導権を取り戻す意味合いがある。その過程で台湾を主体とする観点が強まり、日本統治時代も再び注目されることになる。

台湾の民主化が大きく進んだのが李登輝時代（総統在任一九八八～二〇〇〇年）である。一九九七年、中学校の教科書用語が「日治」に統一された。「日本統治」「日本植民統治」も使用可能とされ、その略称が「日治」だ。その後、戦後初の政権交代を果たした民進党の陳水扁政権（在任二〇〇〇～二〇〇八年）は、さらに「日治」の使用を奨励した。民進党は台湾の主体性を主張する政党だ。

しかし、これに対して今も根強い反対意見がある。台湾の歴史学界は台湾派（独立派）と中国派（統一派）に分かれているとされる。歴史学界はもともと **C** が強かった。その後、**D** が台頭し「日據」から「日治」への転換を果たす。しかし、**E** から見れば日本統治時代を美化していることになる。今回の論争は、「日據」の復権を求める **F** からの反撃である。

⁽⁶⁾ 発端はある教科書会社が高校の歴史教科書に「日據」を使い、教育部の教科書審議委員会から差し戻されたことにある。こ

これを不服とする教科書会社がチンショウした結果、教育部(註)の主導で解説を加える条件で「日據」が復活することになった。当然、この妥協に対して台湾派から強い批判が起きた。

この論争に口を出してきたのが国民党の馬英九総統（在任二〇〇八年）である。馬総統は、「自分は子供のころから大きくなるまで『日據』を使ってきたが、『日治』を使う人がいても反対しない、台湾は民主社会であり、歴史に対する異なった見方に対しては、包容力を持った態度で臨むべきであり、強硬に規定するべきではない」と発言した。

これを受けた行政院(註)は、「学術討論の範囲で歴史事実に対する解釈は編者の解釈を尊重し、憲法が定める表現の自由をホショウする。このため、教科書審査で教育部は『日治』『日據』のいずれも受け入れる。ただし、中華民國の主権と民族の尊厳を守る立場から、政府行政機関の公文書について、行政院は『日據』に統一する」と発表した。

江宜樺行政院長はこの決定について、「中華民國の国家主権と民族の尊厳」を示すためと説明した。この問題は現政権にとって国家主権にかかわるものだったのである。

こうして「日據」から「日治」に変わった日本統治時代が、再び「日據」に戻りした。当然、野党や台湾派の歴史学者は猛反発する。もちろん、(註)現在の台湾の政治情勢の中でこの論争が決着することはない。

「日治」と「日據」。一見すると日本統治時代を論じているようで、実は G、という問題を論じているのだ。だからこそ、この論争は総統が口をはさむほどの歴史観にかかわる重要問題だったのである。（中略）

ところで、以上の論議は標準中国語（台湾では北京語と呼ぶ）での話だ。日常語として使われる台湾語（閩南語）では一般に「日本時代」というシンプルな用語が使われる。外来言語である標準中国語に対して、台湾語は戦前から台湾住民が使っていた言葉であり、日本統治時代の主要言語だ。戦前、日本による植民統治を実際に受けた人たちがあの時代を「日本時代」と呼ぶことに、どこことなくノスタルジアが込められているように感じるのは気のせいだろうか。

(早田健文『日據』と『日治』——論争の背景にあるもの「より」)

(注1) 日據時代 台湾での漢字表記であり、日本の漢字表記では「日拠時代」となる。

(注2) 二二八事件 一九四七年に台湾で起こった。

(注3) 教育部 日本の文部科学省に相当する。

(注4) 行政院 日本の内閣に相当する。その長官が行政院長である。

問1 傍線部 (a) ～ (e) の漢字を平仮名にしなさい。

(a)

(b)

(c)

(d)

(e)

問2 波線部 (イ) ～ (ホ) の片仮名を漢字にしなさい。

(イ)

(ロ)

(ハ)

(ニ)

(ホ)

問3 空欄 A には条約名が入る。それは何という条約か、答えなさい。

問 4

空欄

B

を補うのに最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その番号を左の解答欄に記入しなさい。

- ① 民進党も国民党も
- ② 共産党も国民党も
- ③ 清朝も共産党も
- ④ 清朝も国民党も
- ⑤ 敵も味方も

解答欄

問 5

空欄

C

～

F

には「中国派」あるいは「台湾派」のいずれかの語が入る。

空欄

C

～

F

を適切に埋めな

さい。

(C)

(D)

(E)

(F)

二 次の文章を読んで、後の問い（問1～5）に答えなさい。

漢字ブームで気をつけねばならぬ罨の一つに、ナショナリズムがある。

漢字には、日本人であれ中国人であれ韓国人であれ、使い手の「国格意識」を刺激する魔力がある。

現在、中国人のあいだでは「漢字をユネスコの世界遺産に登録しよう。急がねば、また韓国人にやられる」という危機感がつのっている。実際、台湾と中国大陆の知識人の一部が協力して、繁体字の世界遺産登録運動を進めた、という報道もなされている。

さる二〇〇五年、韓国の「江陵端午祭（カンヌンタノジェ）」が世界無形文化遺産に登録された。このとき中国人の多くは、「端午の節句は中国が本家なのに、韓国人に横取りされた」と怒った。漢字の世界遺産登録運動の背景には、この苦い経験がある。

たしかに、近年の韓国人が主張する「韓国起源説」には行きすぎの面もある。だが中国人の態度も過剰反応である。そもそも世界遺産登録の本旨^(a)は、絶滅危惧種の動物を保護するためのレッドデータブックと似ている。絶滅しかねない衰弱した伝統文化を保護するためのものだ。漢字は当面、廃絶する恐れはなさそうである。国威発揚のために漢字を世界無形文化遺産に登録するという発想ならば、これはおかしい。

昨今^(b)の日本の漢字ブームは、中国でも話題になっている。中国の週刊誌『新世紀周刊』二〇〇九年三月一日号の記事のタイトルは「日本人愛写中国字」（日本人は好んで中国の字を書く）であった。このタイトルも妙である。

中国語でもふだんは「漢字」という。ことさらに「中国字」と表現する場合は、そこはかたない宗主国意識がある。

客観的に見れば、現在の日本でブームになっているのは日本語としての漢字である。中華人民共和国の簡体字（簡略化し

た字体)や台湾の繁体字(伝統的な字体)がブームになっているわけではないし、中国語の発音学習が日本で流行しているわけでもない。中国誌の「日本人愛写中国字」というタイトルは少々ズレている。

そもそも漢字は、中国の文字なのか、日本の文字なのか。

この問いは「カレーはインド料理か、日本の味か」という問いと似ている。

カレーはインド料理だが、日本風のカレーライスは日本の食生活の一部だ。もし、

「カレーライスに福神漬をそえるのは邪道だ。インド人は福神漬をつけない」

などと主張する人間がいたら、^(c)滑稽であろう。カレーを発明したインド人に A を表するのは、けっこうなことだ。が、日本のカレーライスは、もはや日本の味である。福神漬をそえようと、ソースをかけようと、食べかたはその人の好みである。

漢字も、歴史をさかのぼれば中国から入ってきた。だが、日本人は「訓読み」とか、^(d)呉音・漢音・唐音の複数の字音を共存させるとか、日本独特の味つけをおこなってきた。日本の漢字は、すでに日本の文字である。

どこの国でも言葉や文字は「外来」の要素をもつ。

欧米人が使うアルファベットも、ヨーロッパ起源ではない。古代の中東および地中海東部沿岸地域のセム系民族の文字が、アルファベットの起源である。洋数字もアラビア数字(インド数字)だ。でも、それは大したことではない。ヒトラーのよう^(e)な民族主義者でさえ、アルファベットやアラビア数字は外来の文字だから廃止せよ、などという無茶な主張はしなかった。あたりまえである。

中国の漢字も、字体そのものは中国起源だが、漢字を組み合わせさせた漢語の多くは外来語である。例えば「中華人民共和国」という中国語のうち、^(e)生粋の中国語と呼べるのは「中華」だけで、あとの「人民」も「共和国」も、近代の日本漢語から

の借用語である。だからといって「中国人は、実は日本語を使っている」とは、もちろんいえない。中国人が中国語で「中華人民共和国」と発音すれば、それはすでに立派な中国語である。

漢字について考えることは、私たちがおちいりやすいナシヨナリズムの罠を反省する機会にもなる。残念ながら、昨今の漢字ブームはこうした論議もスルーされている。

(加藤徹「中国古典からの発想」より)

問1 傍線部(a)～(e)の漢字を平仮名にしなさい。

(a)

(b)

(c)

(d)

(e)

問2 空欄Aを補うのに最も適切な語を、次の①～⑤の中から一つ選び、その番号を左の解答欄に記入しなさい

- ① 敬意
- ② 賛意
- ③ 謝意
- ④ 誠意
- ⑤ 祝意

解答欄
<input type="text"/>

問3 波線部(イ)「日本語としての漢字」とあるが、日本独自の簡略化した字体をすべて収める漢字表を何とか、答えなさい。

問4

波線部（ロ）「呉音・漢音・唐音」とあるが、その説明として最もふさわしいものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その番号を左の解答欄に記入しなさい。

- ① 中国の三国時代の魏と蜀（蜀漢ともいう）の漢字音に基づくものが漢音、同じく呉の漢字音に基づくものが呉音、遣唐使が伝えた字音が唐音である。
- ② 中国の南北朝時代の南朝の漢字音に基づくものが呉音、北朝の漢字音に基づくものが漢音、遣唐使が伝えた字音が唐音である。
- ③ 奈良時代以前から用いていた字音が漢音、遣唐使が伝えた字音が呉音、明治以降に定着した新たな漢字音が唐音である。
- ④ 奈良時代以前から用いていた字音が呉音、遣唐使が伝えた字音が漢音、鎌倉以降に定着した新たな漢字音が唐音である。
- ⑤ 平安時代に寺院で僧侶たちが用いた字音が漢音、貴族たちが用いた字音が呉音、室町時代の博多で貿易商が用いた字音が唐音である。

解答欄

